

いい声 いい顔 いい心

主幹だより No.28

文責：城

ホントは1週間前に出す予定だったのですが・・・そのつもりでご一読ください。

学力強化月間

「傾向と対策」「隙間時間の使い方」とお知らせしてきました。今回は「見直しの大切さ」です。なぜ「見直し」が必要なのでしょう。練習問題をして丸付けをした後、テストが返却された後、「どうして間違えたのか」をつかむと、次からの間違いがグッと減るからです。（次は間違えないようにしよう」と脳が働くという研究結果も出ているんだそうな）次の①～④のどれになるかをきちんと見直し、それに応じた対策をとるようにします。



① 解き方そのものがわかっていない

いわゆる「手も足も出ない」というものです。

② 分かったつもりになっていた

「見たことはあるんだけど解き方を思い出せない」「解き方を間違っただけに身についていた」等が当てはまります。

①や②は時間をとって解き方を解説し、身に付けさせることが大事です。その後、適用問題を解く学習をすると改善していきます。

③ 単純なミス

単位間違い、誤字脱字、式から答えへの転記ミス等です。テストが解き終わった後、ぼんやり眺めたり、いろいろな点に気をつけて見直ししたりするのではなく、この点だけに注意して見直しさせてみましょう。

④ 時間が足りなかった

実際のテストと同じ時間で解くような経験を積ませます。時間の使い方を指導することも必要です。

（「漢字は10秒考えて思い出せなかったら次にいこう」と言っていた時もある私）

授業中や宿題等で過去問や類似問題にあたったら後は、是非「見直し」に力を入れましょう。

賞賛を

夏休みの作品

募集の結果が



続々ときています。すばらしい賞に輝いている児童もいます。先生から賞賛の言葉をかけてください。本人に直接言ったり、学級の前で行ったりと適宜お願いします。保護者に電話を入れるのも喜ばれます。参加賞等は児童に渡してください。なお、年度末の要録執筆に備えて、その都度記録しておくことをお勧めします。

～ティータイム～

「運動会、大成功」

「行事で子供を伸ばす」

この言葉通りのランフェス

ティバル・大運動会となっ



た。子供たちの活躍する姿を間近で見ることができるのは、教員の特権といえる。幸せな時間だった。

「本番に強い」という言葉を口にすることがある。練習時よりも本番の方がうまくいったり、成功したりした時に使う言葉だ。練習と本番では緊張感やモチベーションが違うからかもしれない。しかし、練習で身に付けたこと、精一杯取り組んでいたからこそその産物ではないだろうか。練習を積み重ねながら、多くのハードルを仲間とともに乗り越え、本番を迎える。積み上げた実力を発揮し、満足感や充実感、達成感を味わって学校行事を終える。このような経験を得たからこそその姿だったと思う。

改めて先生方、ご指導ありがとうございました。

